

遺骨からダイヤモンド

遺骨からダイヤモンドができるのをご存じだろうか。スイスのアルゴダンザ社は現在、世界30カ国以上から依頼を受けて、遺骨でつくる「メモリアル・ダイヤモンド」を製造している。

メモリアル・ダイヤモンドは、遺骨から取り出した炭素のみを使用し、人工的に高温高圧にかけることで製造される。硬度や輝きなどは天然ダイヤモンドとまったく変わらない。遺骨に含まれる成分によって、ほぼ透明から深い青色まで、2つとない色合いのダイヤ

モンドができる。着色は行わない。

日本では世界5番目のパートナー「アルゴダンザ・ジャパン」(静岡市葵区)で発注できる。メモリアル・ダイヤモンドの製作には通常400グラム以上の遺骨が必要で、これは成人男性の遺骨の3分の1から4分の1に相当する。製作期間は約6カ月程度。合成されたダイヤモンドは、希望のカットを施し、必要ならペンダントや指輪に加工する。近年、原石を希望する声が増えており、未カットのままの納品にも対応している。



遺骨を結晶化する準備＝スイス・アルゴダンザ社



メモリアル・ダイヤモンドの色合い



ジュエリー加工例

原石タイプ